

恵那市監査公示第1号

令和4年度随時監査（工事関係）結果の公表について

地方自治法第199条第5項の規定により、令和4年度随時監査（工事関係）を実施したので、同条第9項の規定に基づき、その結果を次のとおり公表する。

令和5年2月27日

恵那市監査委員 水野 泰正
恵那市監査委員 堀 光明

記

1. 監査対象

令和5年1月6日までに契約された契約金額が1千万円以上（変更契約後1千万円以上も含む）の工事。なお、令和3年度からの繰越事業及び修繕費で計上している事業も対象とする。

2. 監査日時 令和5年2月17日（金曜日）午前9時30分～午後4時

3. 監査場所 各事業の工事現場

4. 監査実施事業

契約金額が1千万円以上の事業の中から委員の合議により次の14事業を対象とし、下表のスケジュールで実施した。

時 間	監査実施工事／監査場所	担当課
9:30出発	市役所前出発	
9:35～10:05	市道長島町130号線道路改良工事(1) 契建設第9号、同(2) 契建設第125号／現地	建設課
10:25～10:55	飯地中野方線勢井後橋上部工架設工事 契建設第64号／現地	建設課
11:15～11:30	恵那西工業団地造成・道路築造工事 契土開第3号／現地 見学のみ(※現地説明不要、資料は提出)	都市住宅課

12:00～12:45	昼食休憩（道の駅おばあちゃん市山岡）	
13:00～13:40	恵那市健康プラザ大規模改修工事（機械設備） 契医高第36号、同（建築） 契医高第41号、同（電気） 契医高第42号 ／現地	地域医療課 健幸推進課 高齢福祉課
14:10～14:40	恵那駅西駐車場大規模改修工事 建都第29号／現地	都市住宅課
14:45～15:15	中央公園整備工事 契建都第26号、中央公園トイレ改築工 事 契建都第36号／現地	都市住宅課

5. 監査の着眼点

- （1）計画の整合性 予算との整合性、事業目的と施工内容の整合性、期待される効果
- （2）手続きの適正性 各決裁手続きは適切に行われているか
- （3）施工監理 工法等の選択、工程管理、打ち合わせ等の記録等

6. 監査の方法

次のように、書類確認と現地監査を実施した。軽微な事項についてはその場において口頭で指摘した。なお、現地監査は、同一施設で一体的に発注されている事業（建設9・125、医高36・41・42、建都26・36）については一括して行った。なお、恵那西工業団地造成・道路築造工事は、昨年度に引き続いて実施するため、現地の視察のみとした。

（1）書類確認

以下の書類の写を事前に提出させ、事前に内容を確認した。

- ① 契約関係書類 施行伺書、変更契約伺書、契約書、変更契約書、着手届、完成届、検査調書、完成写真、契約台帳 等
- ② 事業概要の分かる書類及び図面
- ③ 監督関係書類 工事工程表、現場代理人・主任技術者（管理技術者）届及び下請人名簿、施工管理記録 等
- ④ 会計書類 支出負担行為決議書、支出命令書

（2）現地監査

現地において担当者から事業の概要及び工事の内容の説明を受け、進捗状況等を確認するとともに、質疑等を行った。

7. 監査の結果

関係書類については特に問題はなく、いずれの事業も正当な理由で適正に執行されているものと認められた。

個別の事業の現地監査内容については、次の通りである。

市道長島町130号線道路改良工事（建設課）

本工事は、全幅8mで車道5m、片歩道2m、施工延長194mの道路改良工事である。以前から歩行者の通行量が多く、車道と歩道が分離できていないために危険な状況にあり、地元からも改良の要望が出ていた路線であると説明を受けた。契建設第9号で今年度中に土木工、排水工を含む躯体工事を完了し、契建設第125号で4月以降に舗装工、防護柵工等を実施して、全線完成は6月の予定である。両契約とも変更契約の手続き中である。

本工事により、正家第一土地区画整理事業地内の道路と一体的に利用されることとなる。歩道が新たに設置されることで安心面は増すことになるが、同時に自動車の交通量の増加が見込まれるため、監査委員から、今後は安全対策に留意するよう意見した。

飯地中野方線勢井後橋上部工架設工事（建設課）

本工事は、市道飯地中野方線と主要地方道恵那白川線との接続部となる箇所工事となる。既存の勢井後橋の上流に隣接して新たに架設するものであり、下部工は完成している。市道飯地中野方線の幅員は5mであるが、主要地方道恵那白川線との接続部分は2車線となっている。施工延長は380mで、3月末までに架設が完了し、秋までに完成するように変更契約の手続き中である。市道飯地中野方線の全線完成は令和6年4月を予定している。

本路線の改良は、笠周地域振興計画に位置付けられており、他に道路改良が進められている県道恵那八百津線や国道418号の整備により、八百津町や可児市などへのアクセスが格段に改善されるため、監査委員から、新たな経済効果が期待できるとの意見があった。

恵那西工業団地造成・道路築造工事（土地開発公社）

昨年度に引き続いての監査実施のため、工事の進捗状況について現場視察を行った。本工事は、令和3年9月に契約締結が行われ、完成期限を令和5年9月26日としていたが、令和5年1月に完成期限を令和5年12月28日とする契約変更が行われている。

事業面積16haにおよぶ広大な敷地には、大型の重機が数多く稼働しており、工業団地の全体を見渡すことができるほど、造成工事は進捗していた。3区画の工場用地が優良企業に早期に売却されることが期待される。

恵那市健康プラザ大規模改修工事（地域医療課・健幸推進課・高齢福祉課）

恵那市健康プラザは、国保山岡診療所、山岡健康増進センター、山岡デイサービスセンターゆとり、山岡ショートスティほのぼの荘を併設した複合施設であ

る。平成15年5月に事業を開始し、19年が経過する中で経年劣化による施設設備の老朽化が顕著になってきたため、令和4年度から7年度にかけて大規模改修を行うものとの説明を受けた。令和4年度の改修内容は、外壁補修、ウッドデッキ改修、エアコン等空調設備改修、照明LED化などである。施設を使用しながら改修工事を行っているため、エアコン等空調設備改修に当たっては、改修箇所にとろぼなど多数持ち込み、施設の暖房を確保したうえで工事を行っているとの事である。ウッドデッキ改修については、腐食した部分を修理した後に張り替えを行うとの事であり、どちらも工期限内に完成する予定である。外壁補修や照明LED化は終了していた。

令和5年3月をもって閉鎖される山岡診療所の歯科について、監査委員から、3台ある歯科ユニットを撤去した後のスペースについては、多くの関係者と協議をして有効に活用するようにと意見した。

恵那駅西駐車場大規模改修工事（都市住宅課）

恵那駅西駐車場は、平成11年に5億4000万円で建設され、当初は市直営で運営されていたが、平成19年からは指定管理者制度による運営となっている。経年劣化が進み、特に屋上の防水の劣化が激しかったため、長寿命化を図るために各階の防水処理や階段室の壁面改修等を行うとともに、トイレの洋式化やオストメイト設置が行われていた。工事は、完成期限である3月24日までに終了する予定であり、4月からは24時間営業にするとともに、キャッシュレス精算ができるように変更するとの説明を受けた。

指定管理者からは、将来の修繕に備えるための納付金を徴収して、駐車場施設整備基金に積み立てており、基金の前年度末残高は3億2300万円程である。本工事の工事費1億3354万円についても、基金を取り崩して財源に充てることとなっている。このため、監査委員から、今回の工事費用は資本的支出となることから建物勘定へ積算して、適正な減価償却費を算出して納付金に反映していくように意見した。

中央公園整備工事、中央公園トイレ改築工事（都市住宅課）

中央公園は、昭和49年に建設され、以降数回の改修工事が行われてきたが、本年度は市民からの意見を反映して「多世代で利用できる休憩施設と遊具のある公園整備」を目的に大規模な整備工事を行うものである。関連工事として、トイレの改修工事も行っている。

工期については、メインの大型複合遊具を欧州メーカーから1月中に取り寄せる予定であったが、コロナ禍等の影響もあり輸送スケジュールが遅れ2月中旬の入荷となってしまったため、3月末の完成予定が5月末となってしまい、工期を延長する手続きを行っているとの説明を受けた。

監査委員から「樹木が減ってしまったのでは」との質問には、「樹木が大きくなりすぎたため、防犯上の観点から見通しを確保し、新たに植栽を行った」との回答を得た。監査委員からは、すばらしい公園ができそうだとの期待する意見があった。